

12月2日（月）師走

12月がつになりました。12月は、昔むかしの言い方い かたで「師走しわす」と言いいます。

師しが走はしると書かいて、「師走しわす」です。誰だれが走はしるという意い味みでしょうか。



この「師し」とは、僧侶そうりよ、お坊さんぼうのことなのです。普段は、落おち着つているお坊さんでも、12月は、忙いそがしくて、仕し事ごとで走はしり回まわることがあるということから、お坊さんが走はしる月「師走しわす」という言葉が生まれたそうです。

学校がっこうの先生せんせいのことを「教師きょうし」とも言いいます。「師し」という字じがあります。先生たちも、12月は忙いそがしくて走はしりたくなります。皆みなさんに渡わたす通知表つうちひょうを作つくったり、三学期さんがつきの準備じゅんびをしたり、来年度らいねんど、四月しがつからの準備じゅんびも始はじまるのです。

忙いそがしくなると、どうしても早はやくしたくなります。走はしったり、早口はやくちになったり、人ひとのはなし話わを最さい後ごまで聞きけなかつたり、片付かたづけを最さい後ごまでしなかつたり、あいさつやお礼れいを言いわなかつたり、忘れ物わす ものをしてしまつたり、と。

いくら忙いそがしくても、一つ一つをていねいに、張はり切きって取とり組くみましょう。

村越 新